

災息無病
福招災除

夏越祭

(7月29日)



— (宝永四年) 一七〇七 貝原益軒書 —

岡田宮

第33号

平成14年7月吉日
発行 岡田宮社務所
北九州市八幡西区岡田町1番1号
郵便番号 806-0033
電話 (093) 621-1898
FAX (093) 621-5330

岡田宮夏越祭 ごあんない

明治天皇御製

めにみえぬ神の心かみ こころに通うこそ

ひとの心にまことなりけれ。

平成十四年七月二十九日 (月) 午後六時～九時 (雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。参列の方には大祓詞をさしあげます。ふるってご参加ください。

当日ご参拝の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

■魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

■ご参拝の方に御神酒をご奉仕いたします。総当たり福引き・かき水

地元青年会の屋台がたちます。いづれも一回100円

■アニメ上映 (アンパンマン) 遊戯王



無料券

当日この券をご持参ください
福引き・かき水のいづれか
1回が無料になります。

神社総代研修会

三月三十日(土) 晴

片田一夫総代会副会長以下三十八名を乗せたバスは一時間かけて下関市北浦鎮座の中山神社に到着しました。



中山神社は慶応六年(一八六五年)に明治天皇様の叔父様の中山忠光郷を御祭神に創立された神社です。正式参拝終了後、三ヶ本宮司様より講話を二十分ほどしていただきました。その後、宝物館を拝観させていただきました。

午後からは、上井ヶ浜の遺跡人類学ミュージアムと、長門市仙崎の金子みすゞ館を見学しました。

今回も多くの神社関係の研修をしてまいりましたので、今後の神社運営に反映していきたいと思えます。



郷土地名考

33



大蔵(おおくら)

西鉄電車通りの大蔵から河内貯水地の東側を経て大字大蔵、相当広い境域である。藩政時代は田代から河内、猪倉、景勝町までをふくめ、山林百四十町、田四十一町、畑七町、明治二十二年には総面積千三百三十九町になっている。

豊前小倉の各村と接して境界石十五、「その堺、犬牙相交れり」という。国堺石のひとつは高見二丁目、高見神社の下にあり「従是西筑前国」とし

て市指定史跡である。

隣村の尾倉が寛永の頃まで小倉と書いていた。また豊前小倉に接しているところから、それに対して大蔵だという説。中世は豊前企救郡の内で到津荘資料には「二所大クラ四反不作」とし、当て字はない。クラは谷あいの意だが、確かに河内貯水地ができるまでは大溪谷であった。字義ではなく音便に従えばやはり大溪谷、大クラであろう。





波多野直之宮司昇進奉告祭

平成14年6月4日

波多野直之宮司が平成14年2月20日付をもって神職身分2級に昇進しました。



神社 なぜ 問 答

(その33)

Q 夏祭や例祭には神輿や山車の渡御がおこなわれますが、この意味について教えて下さい。

A 各地の神社では一年か、何年かに一度(もしくは何度か)の祭りに伴い、神輿や山車の渡御がおこなわれています。

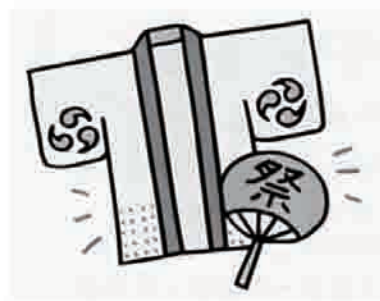
普段は杜深くお鎮まりになっている神様が、この時には神輿や山車にお遷りになり、氏子の手により氏子地域を巡幸してゆくのです。この祭りにより神と人が一体となり、人々は祭りを通じて活気を取り戻し、神様もこうした人々の姿を見て喜び、渡御する地域の各家々に御神徳を与へて下さると信じられています。

渡御祭については、それぞれの神社により性格も異なってきましたが、幾つかに区分してみると、一つには神様が初めてその神社に迎えられ、祭られるようになった事跡や歴史的な事実を繰り返しておこなうもの、氏子区域や神様に縁故のある地を巡る

もの、御盃会などの疫病消除の行事が恒例化したもの、神慮を慰めるためにおこなうもの—などという分け方ができます。

また、特色ある渡御祭の具体例を挙げると、祇園祭などに見られる神輿に山車や屋台が伴って巡幸するもの、海浜や川辺などに渡御する「浜降祭」や「神輿洗い」、神輿を船にのせて海上や川を渡御する「御船祭」など数々の雄壮な祭りがあります。

日本人はよく祭り好きであると言われますが、各地でおこなわれているこうした祭りが徐々に盛んとなってゆく様子を見ると、祭りが地域の活性化に果たす役割は、今も変わらず受け継がれていると感じます。



七五三

七五三祭は、子供の成長にともない折目、折りに神社にお参りして、いっそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成十四年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

三歳 平成十二年生 (かぞえ齡)

平成十一年生 (満年齢)

五歳 平成十年生 (かぞえ齡)

平成九年生 (満年齢)

七歳 平成八年生 (かぞえ齡)

平成七年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、

満年齢でもかまいません。

※毎日午前九時より午後五時

まで受付をしています。



よいつぼみ

よいつぼみであれ

よい花になる

よい花であれ

よい果になる

花をまねたつぼみ

果をまねた花

ともに不具である

少女の完成は少女

青年の完成は青年

今日の完成が

明日を完成する

岡田宮新役員

責任役員

梶原

章旺

総代会理事

菊竹

守雄

総代会理事

島津

博

楽しい雰囲気・明るくスタジオ

(株) **有川** 写真館

岡田宮内にスタジオ完備
宮参り・七五三など

撮影時、衣装無料でお貸しします。

☎ 0120-62-2080

写真館

PePe

北九州プリンスホテル ペペ2F

インドアプール前にオープン
各種衣裳取り揃えております。

☎ 0120-620-753